

中央区 平成29年(2017年)4月 まちづくり会議通信

◆このリーフレットは、中央区のまちづくりに関する様々な課題や情報を、地域の皆さまと共有するためにお届けいたします。

第19号

1 桑園地区の連携事業にみるまちづくりのあり方 ～第2回総会～



3月6日、札幌プリンスホテル国際館パミールにおいて「平成28年度中央区まちづくり会議第2回総会」が開催され、区内各連合町内会役員、本市職員など約90人が参加しました。

会議では、本年度の活動報告の他、まちづくりに関する情報提供として、桑園地区で今年度から始まったネットワーク間連携事業について、これに携わる同連合町内会の山内睦夫(やまうち・むつお)会長とNPO法人環境り・ふれんずの石塚祐江(いしづか・さちえ)代表理事から説明がありました。同地区の人口増加により、住民同士の交流が不足しがちになっているという課題に対して、町内会をはじめ、まちづくりを担う団体同士の連携、イベント支援、市民へのPRを強化したりすることで解決につなげようと考え、本事業が立ち上げられました。

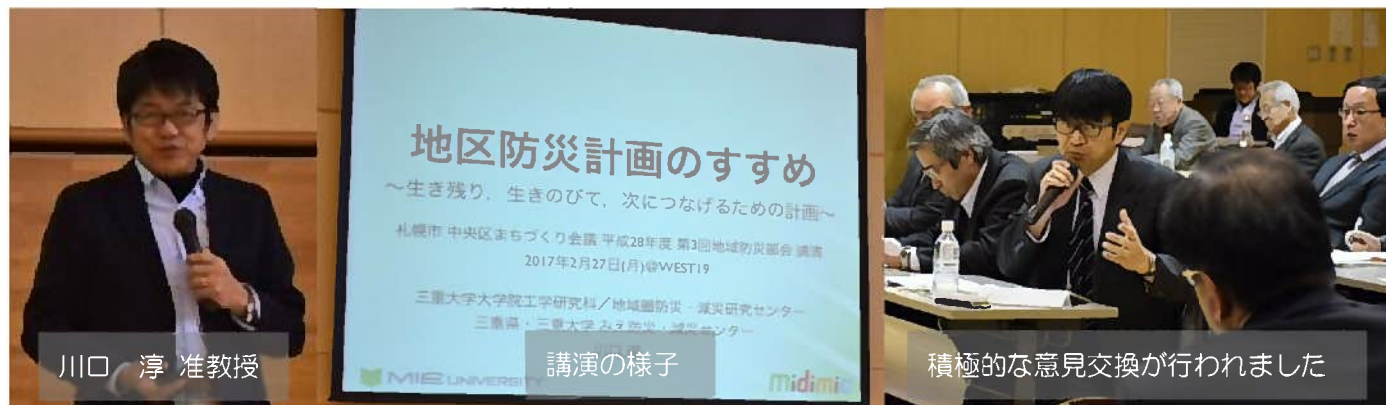
参加者はメモを取りながら熱心に耳を傾け、活発な意見交換も行われました。山内会長が「こうした取り組みにより、地域活動への関心を持ってもらい、参加していただくことができれば、さらなる活性化やまちづくりを担う人材の発掘にもつなげられるのではないかと期待しています」と述べると、大きくうなずくも参加者も見受けられました。

2 平成28年度第3回地域防災部会を開催しました

2月27日、「第3回地域防災部会」が開催され、各連合町内会役員、学校関係者及び市職員など約60人が参加しました。

前半は、三重大学大学院工学研究科 川口淳（かわぐち・じゅん）准教授より「地区防災計画」（※）について講演が行われ、「感じ、考え、行動する力（「生きる力」）を育み、災害時に臨機応変に自分で対応できるための答えに至る『プロセス』を大切にする教育・対策の継続実施の重要性」などについて、ご自身のフィールドワークによる実例を交えた説得力のあるお話に、参加者は熱心に耳を傾けていました。

後半は、中央区における防災の取組み報告が行われ、参加者からは「避難所運営の取組みについては行政も後押しをして“毎年”見直しをしていくべきでは。」といった声上がり、区より『避難所運営マニュアル』を作成した各小・中学校を一つの単位に、見直しの期間設定も含めてそれぞれと相談しながら取組みの枠組みを作っていくと応えるなど、率直な意見交換が行われました。



※ 地域コミュニティにおける共助による防災活動推進の観点から、地区居住者等により自発的に行われる防災活動に関する計画。（平成25年 災害対策基本法改正による）

【参考】内閣府 <http://www.bousai.go.jp/kyoiku/chikubousai/>

3 平成28年度の活動を振り返る ～第3回市電部会～

2月15日、「第3回市電部会」が開催され、区内各連合町内会関係者や本市職員など33人が参加しました。

今年度一年間の部会における活動概要の他、市電の魅力を伝える新たな冊子の制作企画「市電BOOKプロジェクト」、市電ループ化開業後1年の経過報告、小学校の総合学習で市電について取り上げる「小学校のまちづくりデザインプロジェクト」の4つの議題について、それぞれ報告と意見交換が行われました。

今後は「市電BOOKプロジェクト」の活動を継続し、毎年新しい冊子を発行していくこととし、総会で報告する形で「市電を活かしたまちづくり」を進めて行く方向で、検討が行われました。

<発行> 中央区まちづくり会議事務局(中央区市民部総務企画課)

〒060-8612 中央区南3条西11丁目中央区役所 Tel.011-205-3205 FAX011-261-2991